
こうふ未来創り重点戦略プロジェクト

【2016年度改定】

▶ 主な施策とロードマップ ◀

本内容は、平成28年10月に公表した「こうふ未来創り重点戦略プロジェクト・プラス（先導施策の概要）」に掲げた施策の基本的な方向、並びに現下の諸情勢の変化等を踏まえ、今後の市政展開における先導的な役割を担う施策等を中心に、「こうふ未来創り重点戦略プロジェクト」を包括的に見直し、その全体像を明らかにしたものである。

なお、各施策のロードマップは、今後概ね5年程度の中期的な視点に立った戦略的展開の道筋について、現時点での考え方を示したものであり、諸事情の変化等により機動的に改定することが有り得る。

また、主な施策の名称等は、先に公表した施策の基本的な方向の趣旨を具体的に表現したものであり、必ずしも予算上の事業名とは一致しない。

平成29年2月20日
甲 府 市 長

《 目 次 》

創る力① 『こども最優先のまち』を創る

施策の総合的推進 1

- 全市的な市民運動の展開
- ★ 子ども未来フォーラム
 - ★ 学生・拳式プロデュース
 - ★ 縁結びサポーター

- 切れ目の無い施策の展開
- ☆ 子ども未来部の創設
 - ★ 子ども未来プラン

チャイルドケア体制の充実 2

- 育児を総合的に支援するシステムの導入
- ★ 子どもカルテシステム
 - ★ 子育て・生活応援アプリ

- 子育てを包括的に支援する機能の整備
- ★ 子育て世代包括支援センター
 - ★ マイ保健師

- 放課後児童対策の拡充
- ★ 甲府モデル/放課後子供教室
 - ☆ 放課後児童クラブの拡充

- 安心して妊娠・出産できる環境づくり
- ★ 不育症検査費用負担軽減
 - ★ 産前産後ケアセンター通所事業利用助成

- 育児支援の拡充
- ★ 新生児聴覚検査費用の助成
 - ★ 育児用品等の支給
 - ★ 教材費・行事費等補足給付
 - ☆ すこやか子育て医療費助成の拡充

- 未来人材の育成
- ★ 就学費用の負担軽減
 - ★ 子どもの体力・運動能力の向上

市政への子どもの意見反映 5

- 子どもの意見表明の「場」づくり
- ★ 子ども市政モニター
 - ★ 21世紀を考える少年の主張大会
 - ★ 少年議会

教育環境の整備 6

- 学校教育の充実
- ☆ サポートティーチャーの拡充
 - ☆ 少人数学習の推進

- 校外活動の支援
- ☆ 学校内外の危機管理体制の整備
 - ☆ 遊亀公園・附属動物園の整備

創る力② 『人生を思いきり楽しめるまち』を創る

包括的プログラムの構築 7

- すべての市民が活躍できる社会基盤づくり
- ★ シニア生き生きプラン
 - ☆ 生涯学習
 - ☆ ユニバーサルデザイン

★ ヘルプカード

地域協働社会の再構築

★ 協働によるまちづくり

地域包括ケア体制の構築

☆ 介護予防・日常生活支援総合事業

☆ 在宅医療・介護の連携

認知症対策の充実

☆ 認知症総合対策

健康長寿の延伸対策

9

総合的な健康支援拠点の整備

★ 総合健康支援センター

★ 健康増進施設

ヘルスプロモーションの強化

★ 出張健康相談室

★ 健康リスク軽減対策

★ データ分析・評価による健康増進

創る力③ 『くらし潤うまち』を創る

産学公金労言連携による地域産業経済の持続的発展

10

地域産業振興策の総合的推進

★ 地域産業ビジョン

☆ 甲府ブランド認定、ジュエリークラフト関連店舗集積

☆ 中小企業・小規模企業振興条例、創業支援事業計画

地域資源の活用

★ 甲府のワイン

★ ジビエ活用

☆ クリーンエネルギーの普及・促進

テレワークの推進

★ 甲府テレワークヴィレッジ化構想

観光戦略の全市的展開

12

観光地経営の推進

★ 観光地経営体制の整備等

★ 着地型観光メニューの充実

イベント等の活性化

☆ 「山の日」の活用

☆ 「甲府大好きまつり」の魅力向上

★ 「食」の交流イベント

スポーツの振興

13

スポーツを活用した地域活性化

★ スポーツを活用した地域活性化戦略の展開

★ 東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地の誘致

施設の計画的な整備・改修

★ スポーツ施設の機能再編・再配置

★ 社会体育施設の充実

歴史の物語化と地域資源化

14

歴史資源の地域魅力化

★ 歴史読本「甲府ものがたり」

歴史を語る都市づくり

★ 未来を創る歴史物語都市

★ 開府500年記念事業

☆ 公共サインの統一（公共サイン計画）

歴史情報の発信

★ VRを活用した歴史体験

- 史跡周辺の歴史物語化
- ★ 甲府城周辺地域整備
- ★ 武田氏館跡整備

創る力④ 『市民の声を原点とした市政』を創る

分かり易く利用し易い行政サービス 16

- 業務改革の推進
 - ★ 業務改革大綱
 - ☆ 個人番号カードの独自利用
- 時代に即した職員の意識改革
 - ★ 職員行動基準の確立
 - ☆ 健全な職場風土の醸成
- 職員人材の「人財」化
 - ★ シンクタンク機能の整備
 - ☆ 職員人材の育成強化

市民と歩む市政の推進 18

- 企業・市民の声を聴く
 - ★ 市長の学校訪問
 - ☆ よっちやばれ放談会
 - ★ 中小企業等訪問プロジェクト
 - ★ 働く若者とのトークイベント

創る力⑤ 『国や県、民間等とのネットワークを活かした市政』を創る

「国際交流都市・甲府」のグランドデザイン 19

- リニア中央新幹線の活用
 - ★ リニアを活用したまちづくり

シティプロモーション活動の戦略的展開 20

- ブランド戦略と訴求戦略の融合
 - ★ シティプロモーション戦略の展開
- シティプロモーション活動の推進体制の再構築
 - ★ 首都圏広報アドバイザー
 - ☆ 首都圏広報官
 - ☆ 甲府大使
 - ☆ 甲府みらい懇話会

創る力⑥ 『常に成長を続ける市政』を創る

中核市移行後の都市像の確立と行政執行体制の再構築 21

- 中核市への円滑な移行
 - ☆ 中核市への移行

持続的発展を支える自治体連携の推進 22

- 新たな自治体連携フレームの提唱
 - ★ 自治体連携構想
- 近隣自治体との連携強化
 - ★ 協議の「場」
- 大都市圏との連携強化
 - ★ クリエイティブ力を活用した大都市との連携

災害に強い地域社会づくり 23

- 減災・防災による都市の強靱化
 - ★ 災害に強いまちづくり
- 地域防災力の強化
 - ★ 地区防災計画制度

- ☆ 防災力強化対策
- ★ 非常備消防力の整備強化
- ★ 災害時受援体制等の整備

地域活性化対策の戦略的展開

24

中心市街地の居住・定住化などの促進

- ★ リノベーションまちづくり構想
- ★ 中心市街地の高度利用促進支援税制

空家等対策の推進

- ☆ 総合的な推進体制等の構築

人口減少社会への対応

- ☆ 公民連携による地方創生
- ★ 地域産業人材の確保
- ☆ 移住・定住コンシェルジュ、暮らしセミナー甲府
- ★ 遠距離通勤等定期券購入補助制度
- ☆ 公共施設等マネジメント

★：プロジェクト・プラス
☆：現行プロジェクト

創る力① 『子ども最優先のまち』を創る

施策の総合的推進

全市的な市民運動の展開

子ども未来フォーラム

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
調査検討	開催方針	プレ大会	本大会	検証/成果反映

市民や企業、大学、関係団体等と連携する中で、子どもたちが明るい未来を展望し、希望をもって生きることができる地域社会づくりをテーマに、「子ども未来フォーラム」を開催。
 なお、事業を進めるにあたっては、論点の整理と機運の醸成を図る観点等から、プレ大会を先行開催するなど、本大会を子ども自らが考え議論を深める機会となるよう取り組み、その成果は「子ども未来宣言（大会宣言）」として広く発信。

学生・挙式プロデュース

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
調査検討	事業構築/実施	推進	推進	推進

大学生等が在学中に結婚や家庭を持つことの意義について理解を深めるとともに、感動や喜びを自身で体験することで、人生を豊かにする結婚観を醸成。

縁結びサポーター

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
調査検討	調査検討	事業構築/実施	推進	推進

結婚を希望する者を地域ぐるみで支援するため、市内各地区の協力などを得て、「（仮称）縁結びサポーター」を編成し、仲人的なお世話をする取組をはじめとした各種結婚支援事業を展開する中で、結婚に結びつく出会いの機会を創出。

切れ目の無い施策の展開

子ども未来部の創設

☆現行プロジェクト【継続/再重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
編制	推進	推進	推進	推進

周産期から青年期までの子育て・子育てを、一貫して総合的に支援するための組織体制を構築し、関連する施策を着実に推進。

子ども未来プラン

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
調査検討	策定方針	策定	推進	推進

子どもに関する施策を、成長期から高等教育期の各成長段階に応じて、「子育て」及び「子育て」の両面から再構築した「子ども未来プラン」を策定し、関連施策を総合的かつ効果的に展開。

チャイルドケア体制の充実

育児を総合的に支援するシステムの導入

子どもカルテシステム

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
事業決定	SYS.構築	SYS.構築	稼働	推進

様々な悩みや相談に総合的かつきめ細かに対応する相談支援等の業務を行うため、子ども本人やその家族等に関連する行政情報を、一元的に活用できる基盤として「子どもカルテシステム」を導入。

子育て・生活応援アプリ

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
事業決定	SYS.構築/稼働	推進	推進	推進

出産や育児での不安感の軽減、施設・事業の利用促進、孤立化の予防、効果的な情報伝達を図るとともに、子育てを楽しむツールとして、「子育て・生活応援アプリ」を導入。

子育てを包括的に支援する機能の整備

子育て世代包括支援センター

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
調査検討	設置/供用	推進	推進	推進

妊娠期から子育て期にわたる様々な市民ニーズに対して、総合的な相談支援を提供するためのワンストップ拠点として、「おひさま」との機能連携を図る中で、「子育て世代包括支援センター」を設置。

マイ保健師

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
体制構築	導入	推進	推進	推進

新たに配置する母子保健コーディネーターや子育て支援コーディネーター等の専門職と連携しながら、子育て世代包括支援センターにおける全ての妊婦を対象としたケアプランの作成などとおして、一人ひとりに対する一貫した相談支援体制を構築。

放課後児童対策の拡充

甲府モデル/放課後子供教室

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
基本方針	導入	推進	推進	推進

地域住民の協力も得ながら、児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験活動を行うことができる「甲府モデル」の放課後子供教室を、小学校区毎に拡充導入。

放課後児童クラブの拡充

☆現行プロジェクト【充実/再重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
小学5年生	小学6年生	推進	推進	推進

子ども子育て支援新制度に伴う児童福祉法の改正を踏まえ、対象学年を小学6年生まで段階的に拡大。

安心して妊娠・出産できる環境づくり

不育症検査費用負担軽減

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
調査検討	制度決定	導入	推進	推進

妊娠への不安解消や適切な予防医療に繋ぐ観点から、医療保険が適用される一般的な検査(子宮形態検査、血液検査等)に係る費用の一部を助成。

産前産後ケアセンター通所事業利用助成

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
制度決定	導入	推進	推進	推進

現行の宿泊型に加え、日帰り型についても利用費の一部を助成し、質の高いケアを受け、安心して子育てができるよう支援。

育児支援の拡充

新生児聴覚検査費用の助成

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
制度決定	導入	推進	推進	推進

新生児の聴覚障害を早期に発見し、聴能訓練や言語指導など適切な療育援助を行うことにより、言語や心の良い発達を図る観点から、聴覚検査の積極的な勧奨対策として、医療機関における自動ABRやOAEを用いた検査に係る費用を助成。

育児用品等の支給

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
調査検討	制度決定	導入	推進	推進

安心して出産できる環境づくりの一環として、経済的支援を必要とする出産家庭へ乳児期に必要な用品等を現物支給。

教材費・行事費等補足給付

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
調査検討	制度決定	導入	推進	推進

生活保護世帯の子どもを対象に、特定教育・保育施設を利用する際に必要とされる教材費・行事参加費等に要する費用の一部について、一定額を上限として補足給付。

すこやか子育て医療費助成の拡充

☆現行プロジェクト【継続/再重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
推進	推進	推進	推進	推進

助成対象年齢の上限を小学6年生から中学3年生まで拡大。

未来人材の育成

就学費用の負担軽減

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
調査検討	制度決定	導入	推進	推進

就学機会の確保による本市の未来を担う人材の育成や、人口増・定住促進を図る施策の一環として、奨学金を受けて大学等に進学し、卒業後において甲府市に居住し県内企業等に就職した者を対象に、奨学金返済額の一部を助成。

子どもの体力・運動能力の向上

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
調査検討	共同実施	推進	推進	推進

IoT (Internet of Things) による子どもの運動量・活動量データ分析の結果等を活用した、運動習慣を促進するプログラムの導入。

市政への子どもの意見反映

子どもの意見表明の「場」づくり

子ども市政モニター

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
調査検討	制度決定	導入	推進	推進

子どもたちが自主的に「甲府市」を知り、「甲府市」を考えることができる機会を創設し、時代を担う子どもたちの育成と、その夢や願いを市政へ反映する仕組みを構築。

21世紀を考える少年の主張大会

★プロジェクト・プラス【充実/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
推進	充実/推進	推進	推進	推進

青少年が、豊かな感性と自由な発想で自らの意見を発表する機会を通じて、社会の一員としての役割と責任を自覚する中で健全に成長できるよう支援する観点から、関係団体と連携しながら開催。

少年議会

★プロジェクトプラス【既存/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
推進	推進	推進	推進	推進

市内の小中学校の代表が一堂に会し、自分たちの生活する学校や地域を住みやすくするための取組について話し合い、各校で実践するなどの議会活動を疑似体験することを通じて、自治の心や民主的な議事運営のあり方などを学べる機会として開催。

教育環境の整備

学校教育の充実

サポートティーチャーの拡充

☆現行プロジェクト【継続/再重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
本格導入	推進	推進	推進	推進

教育支援ボランティア活動の促進を図り、きめ細かな教育を充実する中で、児童生徒の健全育成と学力の向上を推進。

少人数学習の推進

☆現行プロジェクト【継続/再重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
試行	試行/検証	推進	推進	推進

学級内を少人数集団に分けて授業を行うことにより、これまで以上に丁寧できめ細かな指導を実践。

校外活動の支援

学校内外の危機管理体制の整備

☆現行プロジェクト【継続/再重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
推進	推進	推進	推進	推進

スクールサポーターの配置など、学校内外での子どもたちの安全・安心を確保するための危機管理体制を充実。

遊亀公園・附属動物園の整備

☆現行プロジェクト【継続/再重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
調査検討	整備方針	整備計画	設計	整備

子どもを育むこと等をコンセプトに、開園100周年記念事業として遊亀公園と附属動物園を一体的に整備。

創る力② 『人生を思いきり楽しめるまち』を創る

包括的プログラムの構築

すべての市民が活躍できる社会基盤づくり

シニア生き生きプラン

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
調査検討	策定	推進	推進	推進

シニア世代（アクティブシニア）が引き続き社会の担い手として生涯にわたり活躍できるよう、「（仮称）甲府市シニア生き生きプラン」を策定し、居場所（交流）づくり、雇用機会の創出（生きがい就労等）、社会貢献への参加、生涯学習プログラムの作成、体制（仕組み）づくりなど、当該世代の自主的・自発的な意志や活動に配慮した施策を総合的に展開。

生涯学習

☆現行プロジェクト【継続/再重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
推進	推進	推進	推進	推進

「出前講座制度」の充実や、「まなびポイント制度」の利用促進を図るなど、すべての市民が多様な機会を通じて、共に学び、共に深め合いながら、自らの人生を豊かにする取組を推進。

ユニバーサルデザイン

☆現行プロジェクト【充実/再重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
推進/設計(南口)	推進/整備・支援	推進	推進	推進

お年寄りや障がい者の移動にも配慮した住みよいまちづくりを推進するとともに、利便性向上による同駅周辺の一體的な活性化にも資する観点から、甲府駅南口自由通路内エレベーターを設置するとともに、駅ホームへの内方線付き点状ブロックの設置を支援。

ヘルプカード

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
制度決定	導入	推進	推進	推進

障がい者など支援を必要とする人が周囲に支援を求めるとともに「甲府ヘルプカード」を導入し、市民等で支え合い助け合う地域づくりを推進。

地域協働社会の再構築

協働によるまちづくり

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
調査検討	方針改定/計画策定	推進	推進	推進

市民等と行政が手を携え、自らのまちを協働して創りあげていく観点から、「甲府市の協働によるまちづくりに関する基本方針」の見直しを図るとともに、当該方針の具現化に向けた取組について行動計画を策定し、その取組を総合的かつ計画的に推進。

地域包括ケア体制の構築

介護予防・日常生活支援総合事業

☆現行プロジェクト【継続/再重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
導入	推進	推進	推進	推進

介護を必要としない、または軽度の支援が必要な段階から、介護状態の予防・改善を図るための訪問・通所・生活支援サービス等を一体的に提供。

在宅医療・介護の連携

☆現行プロジェクト【継続/再重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
推進	推進	推進	推進	推進

関係機関の連携と多職種協働による在宅医療・介護の一体的な提供体制を構築し、要介護高齢者の希望に沿った尊厳ある地域生活を支援。

認知症対策の充実

認知症総合対策

☆現行プロジェクト【充実/再重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
事業決定	導入	推進	推進	推進

高齢化の進行とともに急速に増加が見込まれる認知症への対応として、認知症初期集中支援チームの創設や、認知症支援ボランティアの養成とスキルアップのための認定制度の導入など、予防や支援に向けた対策を総合的に展開。

健康長寿の延伸対策

総合的な健康支援拠点の整備

総合健康支援センター

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
構想/設計	設計/施工	施工	開設	推進

甲府市保健所設置基本構想を策定し、市保健所と市保健センターを統合した「甲府市総合健康支援センター」を開設する中で、市民の健康増進の向上と地域保健活動を充実。

健康増進施設

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
整備	推進	推進	推進	推進

幅広い年齢層の市民が、楽しく、気軽に運動でき、運動機能の低下防止や体力づくりなど、市民の健康増進を支援する施設として、リサイクルプラザを再編整備。

ヘルスプロモーションの強化

出張健康相談室

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
調査検討	制度決定	導入	推進	推進

保健センターで開催している健康談話室を臨時出張型の「出張健康相談室」として実施する中で、市民の健康に対する意識を醸成。

健康リスク軽減対策

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
HbA1c	ABC	推進	推進	推進

疾病や介護等の未然防止、早期発見による健康リスクの軽減等を図る観点から、血糖管理やセルフケアの意識向上を図る「HbA1c簡易測定検査」をはじめ、血液中のピロリ菌抗体価・ペプシノゲン値の測定により胃がんの危険度を判定する「胃がんリスク検査（ABC分類）」を実施。

データ分析・評価による健康増進

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
調査検討	分析評価	施策反映	推進	推進

医学的因子情報の分析に基づくポピュレーションアプローチにより、効果的で効率的な健康増進策を展開。

創る力③ 『くらし潤うまち』を創る

産学公金労言連携による地域産業経済の持続的発展

地域産業振興策の総合的推進

地域産業ビジョン

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
調査検討	策定方針	策定	推進	推進

公・民連携により、地域農業の自立的再生をはじめ、地域資源を活用した新商品・新産業の創出とそれを支える業種・業態を越えたバリューチェーンの構築など、中長期的な視点に立った本市産業の総合的かつ効果的な振興策を「甲府市地域産業ビジョン」として策定し推進。

甲府ブランド認定、ジュエリークラフト関連店舗集積

☆現行プロジェクト【継続/再重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
推進	推進	推進	推進	推進

地域経済を活性化する観点から、地域資源を活用した特色ある生産品等を「甲府ブランド」として認定（認証マーク『甲府之証』を交付）し、販路拡大等を支援するほか、中心市街地のジュエリークラフト集積エリアに拠点店舗を整備し、出店希望者のスタートアップを支援。

中小企業・小規模企業振興条例、創業支援事業計画

☆現行プロジェクト【継続/再重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
条例制定/推進	推進	推進	推進	推進

中小企業等の振興に関する施策の計画的な推進や、総合的な創業支援体制の強化を図る中で、活力あふれる持続可能な地域経済を发展させ雇用を拡大。

地域資源の活用

甲府のワイン

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
研究開発支援	製品化支援	市場化支援	推進	推進

本市の地域資源である「ワイン」に着目し、甲府市内で採取された酵母や市内で栽培されたブドウを使用する独自性と、開府500年という歴史的な節目における物語性を持ったスパークリングワインの開発と商品化を支援し、そのブランド化を推進。

ジビエ活用

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
調査検討	方針決定	事業化支援	事業支援	推進

野生鳥獣による農作物等の被害軽減に向け有害駆除若しくは管理捕獲したニホンジカ及びイノシシを貴重な天然資源として捉え、地域資源化を図るための体制整備等を支援。

クリーンエネルギーの普及・促進

☆現行プロジェクト【充実/再重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
調査検討	方針決定	推進	推進	推進

木質バイオマスの活用など、環境配慮型の地域資源活用策により、地球温暖化抑制と産業振興を推進し、低炭素・循環型社会の構築に寄与。

テレワークの推進

甲府テレワークヴィレッジ化構想

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
環境整備支援	事業化支援	推進	推進	推進

サテライトオフィスやテレワークセンターなど、民間企業等のコンソーシアムによる「甲府テレワークヴィレッジ化構想」を推進し、ICTの利活用による柔軟な働き方の実現と新たな雇用の創出を図る新たなビジネスモデルを支援。

観光戦略の全市的展開

観光地経営の推進

観光地経営体制の整備等

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
調査検討	市協会法人化支援	DMO設立支援	推進	推進

観光が有する地域への経済的・社会的・文化的な波及効果に着目する中で、本市固有の地域資源を最大限活用した、観光地としてのコンセプトを確立し、観光地経営の基本的な戦略と先導プロジェクトを推進するとともに、体制の充実強化を図る観点からDMO等の設立を支援。

着地型観光メニューの充実

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
調査検討	制度決定/推進	推進	推進	推進

昇仙峡、ぶどう、ワインなど、本市の様々な観光資源を活用した着地型の滞在プログラムの造成・普及に取り組む「頑張る」事業者を支援し、地域の魅力の発信と誘客の増加を促進。

イベント等の活性化

「山の日」の活用

☆現行プロジェクト【継続/再重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
実施	推進	推進	推進	推進

「山の日」（8月11日）を、帰省客や旅行者などによる交流人口増加の好機と捉え、百名山への「記念登山」や舞鶴公園を主会場とした新たな夏のイベントとして「小江戸甲府の夏祭り」を開催し、地域を活性化。

「甲府大好きまつり」の魅力向上

☆現行プロジェクト【充実/再重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
実施	推進	推進	推進	推進

幅広い世代の市民が参加できる市民による秋季の祭りとして開催し、郷土愛の醸成を図るとともに、農林業まつりとの同日開催など集客性向上による魅力発信の機会を創出。

「食」の交流イベント

☆プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
調査検討	開催（発酵）	推進	推進	推進

地域おこしの観点から、発酵食品をテーマに甲府市の食文化や地場産品を発信する交流イベントを開催（毎年度）。

スポーツの振興

スポーツを活用した地域活性化

スポーツを活用した地域活性化戦略の展開

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
調査検討	基本指針策定	推進	推進	推進

「スポーツを活用した地域活性化戦略基本指針」を策定し、行政と民間の連携によるスポーツイベントの魅力化をはじめ、地域資源や他分野との融合による新たなスポーツコンテンツの開発、更には新たな地域スポーツのプラットフォームの形成などについて、その基本的な方向性を明らかにする中で、スポーツを活かした地域活性化戦略を総合的に展開。

東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地の誘致

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
誘致	誘致	誘致	誘致	受入れ

2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ地を誘致し、選手や誘致国との交流を通じて、スポーツの振興をはじめ、教育文化の向上及び共生社会の実現、さらにはインバウンド観光の促進など、地域の活性化を推進。

施設の計画的な整備・改修

スポーツ施設の機能再編・再配置

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
調査検討	基本方針策定	推進	推進	推進

少子高齢化や人口減少、そして老朽化対策の緊要性などを踏まえる中で、民間も含めた全市的なスポーツ施設の現状に配慮しつつ、緑が丘スポーツ公園をはじめとした市有施設を、市民の日常的な健康づくりやスポーツ活動など生涯スポーツの振興を支える場として計画的に整備改修。

社会体育施設の充実

★プロジェクト・プラス【既存/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
推進	推進	推進	推進	推進

市民スポーツの振興を図るための環境づくりとして、市立小中高グラウンド及び地域スポーツ施設を段階的に改修。

歴史の物語化と地域資源化

歴史資源の地域魅力化

歴史読本「甲府ものがたり」

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
編集方針決定	作成	公表	—	—

「歴史物語都市こうふ」の実現を目的に、甲府の魅力につながる多彩で重層的な歴史・文化や人物、食べ物、祭り、信仰などについてまとめた本を開府500年に合わせ編集・刊行し、郷土甲府の理解や産業の振興、甲府の魅力発信を推進。

歴史を物語る都市づくり

未来を創る歴史物語都市

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
調査検討	基本指針策定	推進	推進	推進

開府500年事業を一つの契機として、本市の歴史や歴史資源を再確認・認識し歴史ある誇れるまちであることの意識の醸成を図り、歴史物語都市としての全市的な展開を推進するため、「未来を創る歴史物語都市こうふ/基本指針」を策定。
 その中では、2027年のリニア中央新幹線の一部開業（品川・名古屋間）を見据えた、本市の未来に向けた発展の可能性を踏まえ、歴史都市と未来都市が融合したオリジナリティ溢れる新たな価値の創造によるまちづくりの方向性を提示。

開府500年記念事業

★プロジェクト・プラス【既存/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
事業方針	推進	推進	重点取組	重点取組(～33)

本市の魅力を創造・発信する好機と捉え、過去に学び現在を見つめ未来につなぐ取組を展開。

公共サインの統一（公共サイン計画）

☆現行プロジェクト【継続/再重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
策定	推進	推進	推進	推進

来訪者が安全で円滑に移動できるよう、自然景観や歴史に配慮した、わかりやすく統一感のある公共サインを設置。

歴史情報の発信

VRを活用した歴史体験

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
事業計画	制作/推進	制作/推進	推進	推進

新たな観光資源として、本市の魅力ある歴史を臨場感あるVRコンテンツにより再現し、「小江戸甲府の夏祭り」や「開府500年記念事業」などの集客イベントへの活用を図る中で、交流人口の増加を促進するツールとして制作。

史跡周辺の歴史物語化

甲府城周辺地域整備

★プロジェクト・プラス【既存/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
実施計画策定	実施計画策定/推進	推進	推進	推進

『風格ある歴史景観と都市景観が調和した居心地が良い、賑わいのある空間づくり』を目指し、甲府城周辺地域活性化基本計画及び実施計画を策定し、甲府城周辺の整備を着実に推進。

武田氏館跡整備

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
事業決定	実施設計	整備	運営	運営

武田氏館跡、武田氏三代の魅力を発信し、訪れる人々の興味、関心を高め、武田氏や戦国大名に関する知識の習得や体験を行う学びの場として、また、交流の拠点として、「ガイダンス施設」を整備。

創る力④ 『市民の声を原点とした市政』を創る

分かり易く利用し易い行政サービス

業務改革の推進

業務改革大綱

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
調査検討	策定方針	業務調査分析	策定	推進

市民に寄り添い継続して関わる利用者の視点に立った、新たな行政サービスモデルの構築を図るため、改革・改善の基本的な方針を示す「業務改革大綱」を策定し、具体的な取組を着実に推進。

個人番号カードの独自利用

☆現行プロジェクト【充実/再重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
申請自動入力	コンビニ交付	推進	推進	推進

個人番号カードの多機能化を順次図る中で、市民サービスを向上。

時代に即した職員の意識改革

職員行動基準の確立

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
調査検討	行動基準策定	推進	推進	推進

時代の変化や市民ニーズの多様化に適切に対応し、「笑顔あふれるまち・甲府」を市民とともに創る職員のあるべき姿を、行動基準として明確化し確立するとともに、職員への定着を図る取組を総合的に推進。

健全な職場風土の醸成

☆現行プロジェクト【継続/再重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
ガイドライン作成	推進	推進	推進	推進

職員の危機管理意識の向上とコンプライアンスの徹底を図る中で、職員倫理の保持と公正な職務の確保に努め、市民から信頼される市政を推進。

職員人材の「人財」化

シンクタンク機能の整備

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
調査検討	設置方針決定	設置	推進	推進

地域課題の解決や市民の声を機動的かつ迅速に政策へと反映するため、企業・大学等との派遣交渉・協定締結等を行うほか、企業や大学等との連携や再任用職員の知識や経験を活用する中で、庁内シンクタンク機能を整備し、本市の基本戦略形成を支援するとともに、職員の政策形成実務能力を向上。

職員人材の育成強化			☆現行プロジェクト【継続/再重点化】	
平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
推進	推進	推進	推進	推進

「人材育成基本方針」及び「実施計画」に基づき、職務に対する高い意識や専門的な知識などを兼ね備えた総合力の高い職員を育成。

市民と歩む市政の推進

市民・企業の声を聴く

市長の学校訪問

★プロジェクト・プラス【既存/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
推進	推進	推進	推進	推進

市長が、学校を訪問し、児童との交流学习（小学校）や生徒との意見交換（中学校）を行うことを通じ、子どもの声を市政へ反映。

よっちゃんばれ放談会

☆現行プロジェクト【継続/再重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
推進	推進	推進	推進	推進

市民の市政への参画・協働を推進する観点から、市政の課題等を中心に市長が市民と親しく意見交換。

中小企業等訪問プロジェクト

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
導入	推進	推進	推進	推進

市長が、市内中小企業等を訪問し、経営者の経営理念や経営戦略をはじめ、従業員の声を聴くことを通じて、今後の地域雇用や産業振興の効果的な施策展開へ反映。

働く若者とのトークイベント

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
導入	推進	推進	推進	推進

市内中小企業等で働く若者が市長と対談し、当該企業に就労する魅力を発信する中で、雇用の確保と人口の定着を促進。

創る力⑤ 『国や県、民間等とのネットワークを活かした市政』を創る

「国際交流都市・甲府」のグランドデザイン

リニア中央新幹線の活用

リニアを活用したまちづくり

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
基本構想策定	推進	推進	推進	推進

リニア開業による効果を最大限に享受できるよう、開業後の本市のあるべき姿として「国際交流都市」の実現を掲げながら、リニア時代を見据えたまちづくりの基本的な考え方や施策の方向を示した、「甲府市リニア活用基本構想」を策定し推進。

シティプロモーション活動の戦略的展開

ブランド戦略と訴求戦略の融合

シティプロモーション戦略の展開

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
基本指針策定	推進	推進	推進	推進

本市の総体的価値を一層高めるため、統合化されたシティブランドを確立し、市民意識の醸成を図る中で、本市の魅力発信の全体的な取組を展開。

シティプロモーション活動の推進体制の再構築

首都圏広報アドバイザー

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
制度決定	任命	推進	推進	推進

シティプロモーション活動を戦略的かつ効果的に展開する観点から、首都圏広報官、スポーツビューロ、及び甲府大使等のほか、新たに「首都圏広報アドバイザー制度」を導入する中で、相互の機能連携を図りながら、首都圏の活力を取り込み、地域の活性化を図る推進体制を充実強化。

首都圏広報官

☆現行プロジェクト【継続/再重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
推進	推進	推進	推進	推進

首都圏を中心にシティプロモーション活動を戦略的に展開する専門職能を配置。

甲府大使

☆現行プロジェクト【継続/再重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
推進	推進	推進	推進	推進

様々な分野で活躍している者を通じて、本市の魅力向上に繋がる情報を積極的に発信。

甲府みらい懇話会

☆現行プロジェクト【充実/再重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
方針決定	設置	推進	推進	推進

時代の潮流を的確に捉えた政策の最適化に資する「知」の創造を図る観点から、市政全般について市長と高い識見を有する者との意見交換の「場」を設置。（『2027年こうふ未来委員会』を『甲府みらい懇話会』として再編）

創る力⑥ 『常に成長を続ける市政』を創る

中核市移行後の都市像の確立と行政執行体制の再構築

中核市への円滑な移行

中核市への移行

☆現行プロジェクト【充実/再重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
調査検討	実施方針策定	推進	移行	推進

「中核市移行事務等実施方針」を策定し、基本方針に掲げる本市が目指す都市の姿を見据えた具体的・効果的な施策等の構築や円滑な事務の執行を推進。

持続的発展を支える自治体連携の推進

新たな自治体連携フレームの提唱

自治体連携構想

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
策定方針決定	構想策定/提唱	推進	推進	推進

将来の圏域全体のまちづくりを展望しながら、各自治体相互が固有の地域資源を活用し、自発的かつ自主的に創意工夫をしながら、圏域内に新たな価値を創造するための関係性を一層高める観点から、自治体間の広域的水平連携を基軸とした戦略的なパートナーシップの構築について、本市の基本的な考え方を整理し、関係者の理解及び合意形成を促進。

近隣自治体との連携強化

協議の「場」

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
調査検討	設置	推進	推進	推進

「自治体連携構想」を今後の圏域全体のまちづくりの基本戦略として共有しながら、各自治体が抱える課題を、連携により効果的に解決を図るための具体化プロセスを円滑に進める協議の「場」を設置。

大都市圏との連携強化

クリエイティブカを活用した大都市との連携

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
事業決定	施設整備	運用	推進	推進

大都市圏からの新たな人の流れの創出や北部地域の振興等を図る観点から、堂の山青少年キャンプ場を、豊かな自然の中でクリエイティブ活動を行う拠点としてリノベーションし、行政・民間・地域の連携による事業を展開。

災害に強い地域社会づくり

減災・防災による都市の強靱化

災害に強いまちづくり

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
調査検討	評価検証	策定方針	策定	推進

災害発生による市民の生命・財産、安全に対するリスクを軽減する「減災」と、発生時の対応体制を確保する「防災」を着実に推進し、本市の持続的な発展に資する観点から、国土強靱化基本法の目的及び基本理念を踏まえた施策事業の重点化を図るため、既存事業等の全庁的な評価検証を進め、災害に強いまちづくりに向けた新たな指針となる計画の必要性を検討の上、策定し推進。

地域防災力の強化

地区防災計画制度

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
制度決定	導入	推進	推進	推進

災害対策基本法に基づく「地区防災計画制度」を導入し、各地区住民の自主的・自発的な取組を通じて防災力を強化。

防災力強化対策

☆現行プロジェクト【充実/再重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
推進	推進	推進	推進	推進

地域住民の防災意識の醸成と地域防災力の強化に向けて、防災知識の啓発をはじめ、防災資機材の整備、備蓄食料の確保、防災リーダーの育成など、関連する対策を強化。

非常備消防力の整備強化

★プロジェクト・プラス【既存/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
1,000万円	1,200万円	1,400万円	全額公費負担化	推進

消防団を中核とした地域防災力の充実強化を図るため、消防ポンプ自動車の購入補助上限額を段階的に引き上げながら、平成31年度までに全額公費負担化。

災害時受援体制等の整備

★プロジェクト・プラス【新規/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
調査検討	策定方針決定	策定	推進	推進

大規模災害時における人的・物的支援を最大限に活用できるよう、「災害時受援計画」を策定し、受入れ環境や体制を整備。

地域活性化対策の戦略的展開

中心市街地の居住・定住化などの促進

リノベーションまちづくり構想

★プロジェクト・プラス【既存/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
策定	推進	推進	推進	推進

「リノベーションまちづくり構想」を公民連携により策定し、中心市街地の遊休不動産を再生・活用する中で、新たな雇用や賑わいを創出。

中心市街地の高度利用促進支援税制

★プロジェクト・プラス【既存/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
施行	推進	推進	推進	推進

中心市街地活性化基本計画区域内の高度利用地区の土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を促進。

空家等対策の推進

総合的な推進体制等の構築

☆現行プロジェクト【充実/再重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
条例施行/計画策定	推進	推進	推進	推進

「空家等の適切な管理及び活用の促進に関する条例」を制定する中で、空家等を適切に管理および活用し、地域の活力向上を図るための体制等を整備するとともに、関連する施策を総合的かつ計画的に実施するための計画を策定し推進。

人口減少社会への対応

公民連携による地方創生

☆現行プロジェクト【継続/再重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
推進	推進	推進	推進	推進

「地方創生戦略会議」をはじめ、地域の担い手となる関係機関等との連携を図る中で、官民一体となって人口減少の解決に向けた取組を強化し、本市の「総合戦略」を着実に推進。

地域産業人材の確保

☆現行プロジェクト【継続/再重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
推進	推進	推進	推進	推進

学生の地元定着に向けて、「こうふフューチャーサーチ」を支援。

移住・定住コンシェルジュ、暮らしセミナー甲府

☆現行プロジェクト【継続/再重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
推進	推進	推進	推進	推進

移住・定住促進策として、首都圏を中心に地方暮らしの希望者を受け入れる取組を推進。

遠距離通勤等定期券購入補助制度

★プロジェクト・プラス【充実/重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
導入（通勤者）	拡充（通学者）	推進	推進	推進

移住・定住促進策として、新規の県外通勤者及び通学者の通勤等費用に係る負担を軽減。

公共施設等マネジメント

☆現行プロジェクト【継続/再重点化】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	～
推進	推進	推進	推進	推進

公共施設等総合管理計画を踏まえた施設再配置計画を策定し推進する中で、今後の人口動向や財政状況、市民ニーズ等を踏まえ、長期的かつ総合的に更新・統廃合・長寿命化などに取り組み、公共施設の最適化を推進。